



2026年 熊本大震災

「救援・復興支援募金」



2026年7月28日16時27分頃、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.1（推定）の地震が発生し、最大震度7を観測しました。被災されたすべての皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

熊本県内では人的被害をはじめ、建物被害や停電、断水など広い範囲で甚大な被害が発生し、多くの方が不安な日々を過ごされています。

2026年8月24日付、熊本県災害対策本部 熊本地震に係る被害情報は下記の通りです。

【人的被害】 計398名

（死亡）38名（重症者）31名（中等症者）96名（軽症者）66名（分類未確定）167名

【住家被害】 計38,537棟 ※推計値を含むものであり、今後修正が入る可能性あり。

（全壊）1,650棟（大規模半壊）187棟（半壊）2,132棟

（一部破損）20,996棟（分類未確定）13,572棟

【避難所・避難者】

避難所開設数：65か所（11市町）、避難者数：2,709名（11市町）

2016年から再度の熊本震災です。今回は4月14日でしたので、気温はまだ穏やかでしたが、今回はこの酷暑の中、避難者の方々の生活苦は想像に難くありません。

災害が起こるたびに、何かできることはないかと悩みます。現在、私が勤めていたYMCAが全国で募金と共に人的支援も開始しています。そこに私たちも参加させていただこうと考えました。

具体的な支援は、現地に熊本YMCAがありますので、そこの方々がニーズに沿って、支援を継続されていることを知っていますので、熊本YMCAに寄附しようと考えています。

どうぞ、金額の多寡は問いませんので皆さんの協力をお願いします。

募金期間：2026年9月1日（火）～30日（水）

募金方法：お配りした封筒に寄付金を入れて事務所までお届けください。

園長が責任をもって熊本YMCAに届けます。

2026年9月1日

園長 中田一夫



9月の行事予定

●毎週金曜日…幼児礼拝（尼崎教会：榊田翔希牧師のお話を聞きます）

10日（木） 幼児お弁当日（お茶・カトラリー）

10日（木）～11日（金） 5歳児1泊キャンプ（京都 YMCA リトリートセンター）

21日（月） 敬老の日 休園

22日（火） 国民の休日

23日（水） 秋分の日 休園

25日（金） 避難訓練

26日（土） 尼崎教会こども食堂「マンナ」

30日（水） 誕生会



～9月28日（月）口座振替のお知らせ～

保育料（乳児）、延長・預り保育代、主食代（幼児/1,100円）、副食代（幼児/4,950円）、手数料（123円）、保育参加給食費（300円）の他、レインボーなわとび代（新入園の4.5歳児・3歳児/704円）を徴収いたします。振替日までに登録口座に資金をご準備くださいますようお願いいたします。

☆3・4・5歳児音楽リズムあそび☆

3日・17日（木）

工藤先生と山田先生と一緒にリズム遊びを楽しみます。

みんなでリズムに乗って楽しみましょう！

☆3・4・5歳児コスモ運動あそび☆

2日・16日（水）※2日はプール指導です。

動きやすい服装・運動靴で登園して下さい。

元気いっぱい体を動かして遊びましょう！

<10月の行事予告>

3日（土）かめふれあい会 詳細は後日手紙配布

17日（土）幼児運動あそびの日（場所：隣の公園＝芦原橋公園）詳細は後日手紙配布

28日（水）芋ほり遠足

2.3歳児は親子遠足（雨天時は行き先を変更）

4.5歳児は遠足（雨天時は延期、別日に5歳児のみ行く予定）



お願い

まだまだ暑さが続きます。シャワーや水遊びを引き続きしますので、朝の登園チェック表や、タオルなどの準備を忘れることなくお願いします。



9月生まれのお友達おめでとう！

なかがわ えなさん 6さい

たにぐち かいせいさん 5さい

なかじま ひよりさん 5さい

わきた そうしさん 5さい

はしもと げんきさん 5さい

はせがわ いおりさん 5さい



今年の夏も『猛暑日』の多い酷暑の夏でしたね。先月のお便りに書いた山梨のキャンプ場は、今年は訳があって行けず（残念すぎる）・・・岐阜県のキャンプ場へ行きました。テニスコートが併設されているので、家族でテニスを楽しみ、夜は毎回作るアヒージョとたこ焼き。天気は曇りだったので星空は見えませんでした。朝は山並みがきれいで感動的でした。2日目は飛騨高山で食べ歩きをしました。みなさんはどんな夏を過ごされましたか？こどもたちも口々に、楽しかったことや嬉しかったことをお話してくれました。私は、夏の計画を崩さず実行できましたが、日本の各地では熊本地震、千葉の豪雨など、とても苦労されている場所があります。私ができることは何があるのかを考え、その地域の名産品を購入し、その収益が役に立てばと思っています。また、私たちの地域にも南海トラフ地震が来ることは予想されていますので、再度、災害用の避難バッグの中身を確認しました。「備え」をしながら来ないことを願っています。副園長 鈴木有紀